


富士と
ともに

新年号

44.1.1 発行



富士山と とともに

「富士山」呼びなれたその名。私たちのまちは、富士にはぐくまれ、富士によつてひらけてきた。その富士も、ときに麓の発展をたたえ、またときに憂いをみせることがある。しかし、いつの日も、私たちの英知と努力に大きな期待をかけているかのようである。
私たちは、新しい年を機会に、あらためて富士の姿と周囲を見つめてみるのも、意義があるのでないだろうか…。<写真は富士山・御殿庭・庭園内のカラマツが描き出す、四季とりどりの景観は表富士隨一>